**第4学年 3 組道徳学習指導案**

1．主題名　わかり合えば　〔内容項目２―（３）〕

2．資料名　　「二十五人へのおくりもの」

3．本時の学習指導

（1）ねらい

　友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする心情を育てる。

（2）展開

場面2

林さんの絵を見た場面

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習内容 | 主な発問と予想される児童の反応 | 教師の支援 | 時間 |
| １　「友情とは何か」について考え、発表する。  ２　資料「二十五人へのおくりもの」を読んで話し合う。  場面1  林さんが1人でいて、このままでいいのかなぁと思いながらも遊びに行く場面  場面３  学級新聞で林さんの絵が紹介された場面  場面4  林さんに「ありがとう」と書かれた紙をもらった場面  ３　友達のことを思い浮かべて、友達のためにしていること、気をつけていること、したいこと、できることについて考え、発表する。  ４　教師の説話を聞く。  ５　友情についてもう一度考え、本時の振り返りを行う。 | ◯　みんな「友情」ってなんだと思う。  ・友達を思いやること。  ・友達を助けること。  ・友達と楽しく遊ぶこと。  ◯　「このままでいいのかなぁ」と思っている私はどんな気持ちでしょうか。  　・林さんのために何かしたい。  　・何かしたいけど何もできないからもやもやする気持ち。  　・林さんと仲良くしたいけど…  　・みんなはどう考えているのだろう。  ◯　林さんの絵を見た私はどんなことを考えたでしょう。  　・とっても上手くて羨ましい。  　・みんなにも紹介したい。  　・わたしにも教えてほしい。  ◯　初めて林さんの笑顔を見た時の私はどんな気持ちでしょうか。  　・本当にデザイナーになりたいんだな。  　・ずっと笑顔だったらいいな。  　・もっと笑顔になってほしいな。  ◯　学級新聞に林さんの絵をのせ  　てもらおうと決めるまでに、わ  たしはどんなことを考えたでし  ょうか。  ・学級新聞なら、みんなに林さんの絵が上手いことを伝えられる。  ・学級新聞なら林さんの特技を活かせる  ・これなら林さんも喜んでくれるはず。  ◯　林さんに「ありがとう」とかかれた紙をもらった時の私はどんな気持ちでしょうか。  　・学級新聞にのせてよかった。  　・林さんが喜んでくれてよかっ  　　た。  　・これで林さんとも遊べるようになる。  ◯　友達のことを思い浮かべて、  友達のためにしていること、気  をつけていること、これからし  たいことについて考えてみよ  う。  ・友達が困っている時に話を聞いてあげる。  ・友達が１人でいたら一緒に遊ぶ。  ・友達の気持ちを考えて話す。  ◯　友情って何だろう  　・友情っていうのは、友達のことをよく考えて、友達のために何かすることだと思う。 | * 率直な気持ちを   聞きたいことを伝える。  ◯　資料の内容をとらえやすいように登場人物を板書する。  ◯　どうにかして林さんと仲良くなりたいのに、なかなか勇気が出ないわたしの心情に共感できるようにする。  ◯　林さんの良いところを見つけて喜んでいる私の気持ちを理解できるようにする。  ◯　友達のいいところや自分のいいところについても考えるように促す。  ◯　友達の笑顔をみれてうれしいという気持ちに共感できるようにする。  ◯　クラスの多くの人が知らない林さんの良いところを紹介して、みんなと仲良くなってもらいたいと考える私に共感できるようにする。  ◯　林さん自身も喜んでくれたことを感じた私の心情を捉えられるようにし、友達のことを思って行動することの大切さに気付けるようにする。  ◯　友達のことを思  　い浮かべて、何ができるのかを考えることで、友情とは何かについて考えが深まるようにする。  ◯　教師の話を聞くことで、「友情」について考えが深まるようにする。  ◯　もう一度「友情」について問うことで、「友情」についての考えを深める。  ◯　本時の振り返りを通じて、「友達」「友情」についての考えを自覚するよう促す。 | 4  23  10  3  5 |

４．備考　　　在籍児童数　　３５名

５．板書計画

・もっと笑ってほしい

・どうしたらもっと

笑ってくれるかな

場面3

・林さんが喜んでくれて

よかった

・学級新聞にのせて

よかった

・これならみんなにも紹介できる

・林さんもきっと喜んでくれる

・

・何かしたい

・もやもやする

・何ができるだろう

・良いところが

知れてうれしい

・みんなにも教えて

あげたい

このままでいいのかな

良いところを知るとうれしい

笑顔が好き

笑って

ほしい

場面1

わたし(小山さん)

林さん

(外国ぐらしで日本語が不得意)

「二十五人へのおくりもの」

場面4

場面2

学級新聞に林さんの絵をのせてもらう

ことを決めるまでのわたしの気持ち